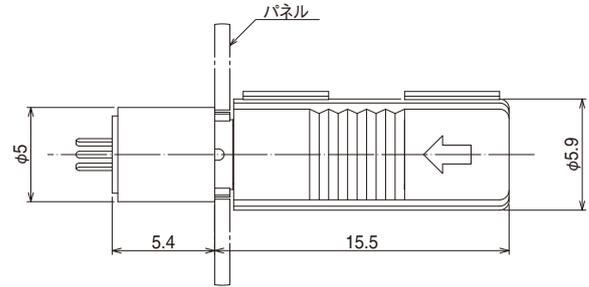


# 超小型 高性能丸形コネクタ

## SR38 シリーズ



嵌合状態図



### ■特長

#### 1. 超小型・高密度設計

- 標準外形が $\phi 5.3$ (突起物を除く)でありながら、その中に、必要機能をコンパクトにまとめているので、省スペース実装が可能です。
- 簡易ロックにより振動等の外力に対しても高い信頼性を有し、シールド性も考慮しております。

#### 2. 配線実装が容易

プラグは特殊工具を必要としない組立タイプです。また、レセプタクルは基板ディップタイプとなっています。

### ■製品規格

定 格	定格電流	0.5A	使用温度範囲	-15 ~ 60°C
	定格電圧	AC30V、DC42V	保存温度範囲	-10 ~ 60°C

項 目	規 格	条 件
1. 接触抵抗	30m $\Omega$ 以下	DC100mAで測定
2. 絶縁抵抗	100M $\Omega$ 以上	DC100Vで測定
3. 耐電圧	せん絡・絶縁破壊のないこと	AC100Vを1分間
4. 耐振性	10 $\mu$ s以上の電氣的瞬断がないこと	10~55Hz/サイクル、振幅0.75mm、3方向、各2時間試験する。
5. 衝撃	10 $\mu$ s以上の電氣的瞬断がないこと	加速度490m/s <sup>2</sup> 、持続時間11ms 3方向、各3回試験する。
6. 繰り返し動作	接触抵抗50m $\Omega$ 以下	100回
7. 温度サイクル	絶縁抵抗100M $\Omega$ 以上	-25°C : 30分 $\rightarrow$ 常温 : 10~15分 $\rightarrow$ 70°C : 30分 $\rightarrow$ 常温 : 10~15分、計5サイクル放置する。
8. 耐湿性	絶縁抵抗 : 1M $\Omega$ 以上(高湿時) 10M $\Omega$ 以上(乾燥時)	温度40°C、湿度90~95%、96時間放置する。

### ■材質・処理

項 目	材 質	処 理	備 考	
プラグ	外装	黄銅	すずめっき	
	絶縁物	ポリプロピレン樹脂(黒色)	—	UL94V-0
		PBT樹脂(黒色)	—	UL94V-0
雄端子	りん青銅	銀めっき	—	
レセプタクル	外装シェル	黄銅	ニッケルめっき	—
		りん青銅	すずめっき	—
	絶縁物	PBT樹脂(黒色)	—	UL94V-0
	雌端子	りん青銅	銀めっき	—

## ■製品番号の構成

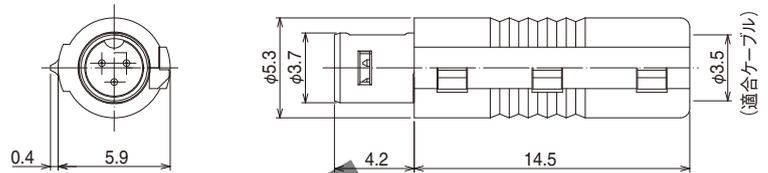
製品番号から製品の仕様をご判断頂く際にご利用ください。

**SR38 - 4 P - 3 P (\*\*)**

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① 型名：SR38シリーズ
② シェルのサイズ：シェルサイズは、プラグの嵌合部分のシェル外径を表します。
③ シェルの種別 P：プラグ R：レセプタクル
④ 端子の極数：端子の数を表します。
⑤ 端子の形状 P：雄端子 S：雌端子
⑥ その他の仕様：上記以外で仕様が変更になる場合、2桁の数値を付記します。

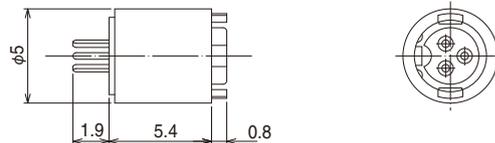
## ■プラグ



製品番号	HRS No.
SR38-4P-3P(31)	103-0372-2 31

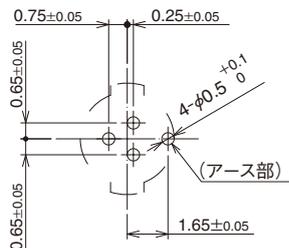
本品の適合ケーブル径におけるケーブルクランプ力は10～20Nですが、ケーブルの種類によりクランプ力に差異が生じますので、ご確認ください。  
また、特にケーブルに屈曲が加わる場合は、ご使用ケーブルでご確認ください。

## ■レセプタクル

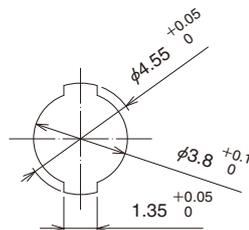


製品番号	HRS No.
SR38-4R-3S(71)	103-0373-5 71

## ◆ディップポスト配列 及びパネル取り付け寸法図



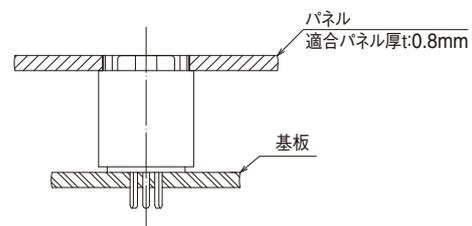
ディップポスト配列



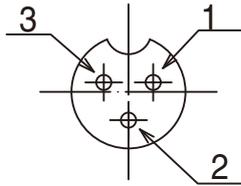
パネル取り付け寸法

## ◆レセプタクルの取り付け方法

下図の通り、基板とパネルで挟み込んで固定してください。  
また、端子ディップ部には、負荷が加わらない様  
ご注意ください。

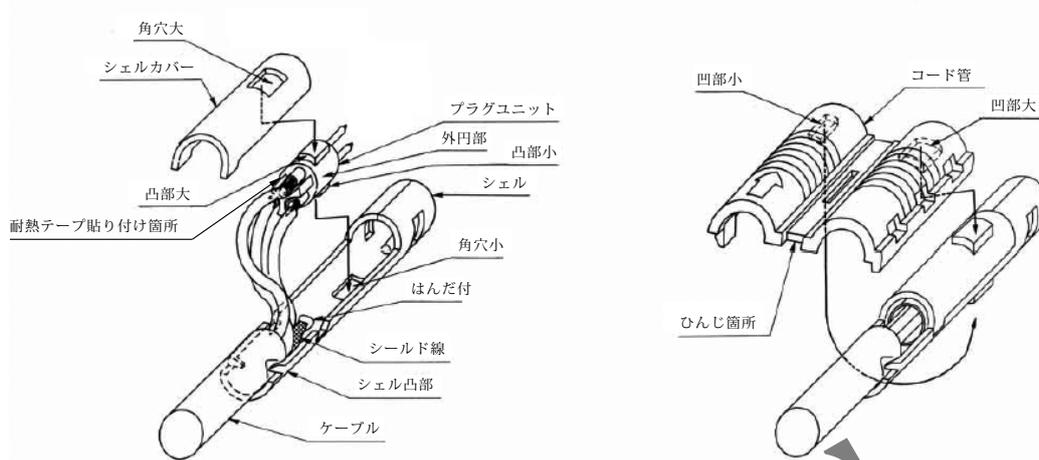


## ◆端子配列



- 備考1. 図はレセプタクルの嵌合面側（プラグの結線側）から見た場合を表します。  
2. プラグの溶りカップ内径は、 $\phi 0.5$ です。

## ◆結線作業用要領（プラグ側）



1. 端末処理したケーブルをプラグユニットにはんだ結線します。  
(なお、はんだ付けは280℃以下のはんだごてで、3秒以内で行ってください。)
2. 端子-シェル間の絶縁の為、耐熱テープをプラグユニットの端子結線部に巻きます。(耐熱テープはお客様でご手配いただけますよう、お願い致します。)
3. シールドケーブルの場合は、シールド線をシェルの底面部に上図の通りはんだ付けします。
4. ケーブルシースをシェル凸部に食い込ますようにして取り付けます。
5. プラグユニットの凸部をシェルの角穴に大きさを合わせて取り付け、もう一方のシェルカバーを取り付けます。
6. コード管と組み立てたシェルの凹凸を合わせて、コード管のひんじ部を境にして閉じます。

MEMO :

【生産終了予定】